

明大 サークル 物語

Circle Story of Meiji University

▶▶▶▶▶ キンボールサークル One Color

みなさんはキンボールというスポーツをご存知でしょうか。1986年カナダ発祥の屋内競技で、現在注目されているニューススポーツの一つです。ボールを見ていただければ、小学生のころに体験したことがある！という方もいらっしゃるかもしれません。キンボールの「キン」とは、「キネシス (Kinesthis)」の略であり、英語で「運動感覚」という意味です。その名の通り、キンボールはさまざまな運動能力を駆使します。

キンボールは1試合につき4人ずつの3チーム(ピンク・グレー・ブラック)で競い合うスポーツです。1チームが攻撃、他2チームが守備となり、攻撃側のチームは「オムニキン、○○ー」という掛け声で色を指定します。主にコート中央で3人がボールを持ち、4人目がそのボールを上半身(主に腕)のあらゆる部位を使用してボールを打ちます。そして掛け声の際に指定された色のチームが守備となり、打たれたボールを落とさないように、全身を

ニュースポーツ、「キンボール」



ジャパンカップ



合同合宿の選手宣誓

キンボールサークル One Color

みなさんは大学に何を求めていますか？ 高校までではやってこなかった新しいこと、新しい仲間と楽しいことをしたいなど、さまざまな思いがあると思います。そのような思いから生まれたのが私たちのサークルです。世界にはキンボールというニュースポーツがあります。そのニュースポーツへの興味が、さまざまな異なる目的を持った人々をこのサークルへと導いているのです。

商学部2年 関根 章吾

キンボールの攻撃プレイ



使って守ります。守備が成功した場合はそのチームが攻撃側へ、失敗した場合はそのチーム以外に1点ずつ得点が入る仕組みになっています。タイム制のため7分間プレイし、得点の高い順に順位が決まります。

キンボールの面白さは、この「2チームに1点ずつ入っていく」ところにあります。チーム間で点数差が開きにくく、常に拮抗した試合が展開されていきます。また、攻撃の際は守備を欺くフェイントや、頭やお腹でボールを打つなど、トリッキーで頭脳的なプレイが求められます。守備では、走っても届かないようなボールをスライディングをして足で浮かせたり、蹴り上げたり、体のさまざまな部分を使うことができるのも面白さの一つです。速い球が飛んでくることもあります。ファンタジーささえできれば、チームメイトがフォローしてつながっていきます。チームワークがとても重要であり、女性や子どもでも幅広く楽しめます。また、男女混合でそれぞれの個性を活かしあうこともできるスポーツです。

Circle Story of Meiji University

▶▶▶▶ キンボールサークル One Color

真面目にスポーツ One Color

One Colorは歴史が浅く、結成から8年しか経っていません。それもそのはず、キンボールというスポーツは前述のとおり1986年に生まれ、日本に紹介されたのが1997年と、まさにニュースポーツなのです。そのため、経験者はほとんどいません。誰もが初めてのスポーツ、これは想像以上に魅力的なことです。みんなが同じスタートラインで切磋琢磨し、ともに上達していくことは、大学生になった今、他のスポーツでは味わうことのできない楽しさがあります。潜在的な運動神経によって上達の速さは異なるかもしれませんが、しかし、中学、高校と文化系の部活に所属し、運動経験のなかった私が、1年間練習を続け、スライディングができるようになったとき、今までにない感動をおぼえ、色あせていた景色が一変しました。このように、それぞれに成長のドラマがあることは、このキンボールサークルの魅力だと思います。

がるメンバーとのチームワークがとて重視されます。メンバーと盛り上がるうえで欠かせない協力が、そこにはあります。攻撃をする際の掛け声、「オムニキン (OMNIKIN)」とは、「すべての」という意の英語からとった「オムニ (omnipresent)」と、「キン (キネシシス)」を組み合わせた造語であり、「みんなが楽しめるスポーツ」という意味が込められています。また、OB、OGの方々に参加いただくこともあり、練習では大きな刺激を受け、イベントでは先輩として大いに盛り上げてくださいます。私たちはこのような縦のつながりも大切にしています。

真面目に遊ぶ One Color

ここまでの文章を読んだだけでは、One Colorの魅力の半分しかお伝えできていないと思います。これほどの実績を持っているにも関わらず、私たちがサークルであり続ける理由、それはOne Colorのもう一つの顔に答えがあります。真面目にキンボールをする反面、真面目にとことん遊ぶ

学年での旅行、川遊び



明大祭には模擬店で参加

スノーボードを楽しんだ冬合宿



キンボール漬けで過ごす夏合宿

また、未経験者が多いのにも関わらず、日本各地で開催されている大会に積極的に出場し、好成績を収めています。毎年開催されている全国大会「ジャパンカップ」では、毎年準決勝に進出しています。大会で好成績を収めてきたことから、日本キンボールスポーツ連盟に注目され、これまで何名も日本代表選手を輩出しています。サークルでありながらも、キンボールを真面目に練習するメンバーの熱意が、このような成績につながっているのです。

他大学や、団体との交流も盛んで、合同練習を何度も行っています。合宿も行っており、ここでは大学の枠を超えた友情が生まれます。また、体育大学のキンボール部ともつながりがあり、サークルの域を凌駕した、ハイレベルな試合が経験できるのも、このサークルの魅力です。

しかし、メンバー全員がこのようなハイレベルなキンボールに参加しているわけではありません。チームで楽しくスポーツをする、ということを目指している人もいます。前述のように、このスポーツは、ワンタッチからつな

のも、このサークルの魅力です。

年3回の合宿のうち、2回はキンボールを中心に取り組みますが、1回はスノーボード合宿です。普段とは環境を変えて、キンボールを一切しない2泊3日を過ごします。そして明大祭やBBQ、花火大会など、さまざまなイベントを通じてキンボール以外の場面においても絆を深め合っています。

あまり世間に知られていない、ニュースポーツを活動の主体としていくにも関わらず、現在One Colorには約150人ものメンバーが所属しています。これは、このサークルのスポーツと遊びの両立を保っていることが、大きな理由の一つといえます。

「One Color」は日本語に訳すと、「一色」という意味になります。これは、このサークルの創設者の名前であり、また、キンボールというスポーツを通してこのサークルのメンバーが、「一色」になるように、という意味も込められています。キンボールも遊びも、真面目に楽しく充実させることのできるサークルであること、それが私たちのColorです。